

2020年4月27日

報道関係各位

気仙沼地域開発 株式会社
一般財団法人 日本アムウェイ財団
宮城県気仙沼市

気仙沼内湾地区のにぎわいある商業・観光拠点としてまちづくり 「気仙沼アムウェイハウス 拓（ヒラケル）」が完成

気仙沼地域開発株式会社（宮城県気仙沼市南町海岸1番14号 ムカエル3階 代表取締役社長：菅原昭彦）及び、一般財団法人 日本アムウェイ財団（東京都渋谷区宇田川町7-1 代表理事：池部 カナ）は、宮城県気仙沼市（宮城県気仙沼市八日町1丁目1番1号 市長：菅原 茂）との協定のもと、当財団の『Remember HOPE 東北支援プロジェクト』の取り組みの一環として、新たなコミュニティ施設「気仙沼アムウェイハウス 拓（ヒラケル）」が2020年3月31日に完成したことを発表します。



東日本大震災において甚大な被害を受けた気仙沼市の中心市街地である内湾地区では、その豊かな「食」を中心に固有の文化・風土を継承した気仙沼にしかない街づくりを目指し、内湾地区まちなか再生計画を掲げ、官民一体となった地域開発が進められてきました。

本施設は、地域交流のためのシアター機能を持つコミュニティホールの他、市が掲げるスローフードの発信源となるスローフードマーケットとして、震災で店舗を失った地元の鮮魚店や青果店、気仙沼初のクラフトビールのブリュワリー（クラフトビール醸造施設）から構成される一体型コミュニティ施設として誕生しました。建設資金は、当財団の寄付金から賄われ、収益は地域コミュニティに還元されます。

また、コミュニティホールの運営、各店舗の開業については、昨年末より順次実施されており、既に地元の皆さまにご利用いただいております。

本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先

一般財団法人 日本アムウェイ財団

Tel: 03-5428-7177 / Email: AJ.AMWAY.PR_team@Amway.com

海とまちが連続する美しい港町の景観に、ウォーターフロント商業施設「迎（ムカエル）」、公共公益施設「創（ウマレル）」、商業施設（スローストリート）、そして今回のコミュニティ施設「気仙沼アムウェイハウス 拓（ヒラケル）」が完成したことにより、さらに気仙沼が賑わいある商業・観光拠点として、多くの人びとから愛されるまちとなることを期待しています。

なお、当施設の完成記念オープニングイベントの開催準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う政府からの緊急事態宣言を受け、イベントの延期を決定いたしました。

今後、お披露目を兼ねた交流イベントの開催につきましては、改めてお知らせいたします。

一部店舗の休業、営業時間の縮小、サービスの休止などの対応を実施しております。

予めご理解いただきますようお願い申し上げます。



シアター機能をもつコミュニティホール（100名収容）



【鮮魚店】やまひろ



【青果店】宮川商店



【ブルワリー（クラフトビール醸造）】BLACK TIDE BREWING

■気仙沼アムウェイハウス 拓（ヒラケル）概要

所在地：宮城県気仙沼市南町3丁目2-5

敷地面積：約1,454平方メートル（延床面積：498.51平方メートル）

総工費：2億5千万円

管理会社：気仙沼地域株式会社

完成日：2020年3月31日

本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先

一般財団法人 日本アムウェイ財団

Tel: 03-5428-7177 / Email: AJ.AMWAY.PR_team@Amway.com

■気仙沼地域開発 株式会社について <https://www.k-chiikikaihatsu.com/>

気仙沼市の第三セクター、震災で壊滅的な打撃を受けた気仙沼市中心部の南町地区商業エリアのプロデュースを行っており、公共施設の施設管理や海岸エリアのイベントなどの企画運営などを行う、まちづくり会社。

気仙沼固有の文化・風土を継承したここにしかない街づくりを目的としており、新たな商業エリアを計画している。

人々を惹き付けてやまない気仙沼の食の魅力と地域の文化を体感、人とのふれあいを楽しみ、多くの地元住民と来街者で賑わう、気仙沼観光の拠点となる施設づくりを目指している。

■東北支援プロジェクト『Remember HOPE』の歩み

2011年3月の東日本大震災の被災地復興支援のもと、人と人との絆を取り戻すための活動として、日本アムウェイ合同会社が2012年に開始した社会貢献プログラムです。2013年10月1日、透明性をもって長期的な支援を行うため、「一般財団法人 日本アムウェイ財団」を同社内に設立。被災地3県（岩手、宮城、福島）のコミュニティ施設の建設とチャリティイベントの開催を通して、地域の人々が集う場所と機会の提供を行う活動を続けています。これまでに宮城県南三陸町、福島県相馬市、岩手県野田村、大槌町、陸前高田市に建設。今回の「気仙沼アムウェイハウス 拓（ヒラケル）」で6棟目の建設となります。

■「一般財団法人 日本アムウェイ財団」の概要（旧：一般財団法人 日本アムウェイ One by One 財団）

所在地：東京都渋谷区宇田川町7-1（日本アムウェイ合同会社内）

設立日：2013年10月1日

代表理事：池部 カナ（2019年11月11日付 就任）

活動内容：1. コミュニティハウス建設、貸与、管理 2. 地域交流のためのイベント企画運営
3. 被災地支援のためのチャリティ募金活動 4. その他、上記目的を果たすために必要な事業など

本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先

一般財団法人 日本アムウェイ財団

Tel: 03-5428-7177 / Email: AJ.AMWAY.PR_team@Amway.com